

## オーディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(342)(HP 収載) —アリス=紗良・オットのラヴェルのピアノ協奏曲—

#### 1. 始めに

前報(341)に引き続き、STAGE+のアリス=紗良・オットのラヴェルのピアノ協奏曲などの演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回は、前報(341)に引き続きアリス=紗良・オットのラヴェルのピアノ協奏曲などの演奏を選びました。

アリス=紗良・オットが奏でるラヴェルのピアノ協奏曲

アレクサンドル・ロック指揮、ロンドン交響楽団

収録日: 2025年11月27日

注目の俊英指揮者アレクサンドル・ロックがロンドン交響楽団に客演するコンサートの模様をお届けします。幕開けを飾るのは、ドビュッシーが1894年に発表した《牧神の午後への前奏曲》。斬新な和声による官能的な響きを追求し、現代音楽への扉を開いた傑作です。続くラヴェルのピアノ協奏曲では、同楽団の常連ソリストでこの曲を得意とする人気ピアニスト、アリス=紗良・オットが登場します。後半では、戦後ポーランドにおける政治的抑圧の影も感じさせる、ルトスワフスキの管弦楽のための協奏曲、そしてラヴェルがヨーロッパ秩序の崩壊を象徴的に表現した《ラ・ヴァルス》をお楽しみください。新しい年の始まりを飾るにふさわしい、聴き応えたっぷりのプログラムといえるでしょう。

ソリスト:

アリス=紗良・オット (ピアノ)

演奏:

ロンドン交響楽団

指揮:

アレクサンドル・ロック

曲目:

1 クロード・ドビュッシー 《牧神の午後への前奏曲》 CD 87

2 モーリス・ラヴェル ピアノ協奏曲ト長調 M. 83

アリス=紗良・オット(ピアノ)

3 ヴィトルト・ルトスワフスキ 管弦楽のための協奏曲

#### 4 モーリス・ラヴェル 《ラ・ヴァルス》 M. 72



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

ドビュッシーの《牧神の午後への前奏曲》は、お馴染みの曲で、木管が幻想的に奏でられます。

ラヴェルのピアノ協奏曲は、1 楽章と 3 楽章は打楽器も活躍する、色彩感あふれる曲で、アリス=紗良・オットの指先がピアノの鍵盤上を踊り、2 楽章は詩情をたたえて静かに流れます。アンコール曲は美しい小品でした。

ルトスワフスキの管弦楽のための協奏曲は、おどろおどろしい表情から始まり、その後も意表を突くような鋭い表情が展開されます。

ラヴェルの《ラ・ヴァルス》は、これも色彩感あふれる曲で、管弦楽のための舞踏詩『ラ・ヴァルス』すなわちワルツという意味で華やかな舞踏会のイメージで

す。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ドビュッシーの詩情、ラヴェルの色彩感やルトワルスキイの刺激感などの表情を再現できていました。

以上

